令和５年12月号

ひなぎく病児保育室だより

令和５年１２月１日発行

早いもので、今年も後一ヶ月となりました。今年、病児保育室を「初めまして！」の、ご利用者様。また「お久しぶりですね！」のご利用者様との、様々な出会いがありました(*^^*)　お子様の発病時に、ひなぎくをご利用いただき、また、持ち物や来院時間の変更につきましても、ご対応いただきありがとうございました。

朝、健康チェック前に、お家での様子をお伺いした際、高熱や咳でお子様が熟睡できなかったことを話されます。それは、保護者様も心配で同じ状況だと推察できます。だからこそ体調が回復されて、保育室を後にする姿に保育士も胸をなでおろします。お子様にはもちろん、保護者様にも、寄り添える場所でありたいと思います。

来年も保育士一同、精一杯、努めてまいりますので、お困りの際はお問い合わせくださいませ。

２歳 10 ヶ月の男の子

数ヶ月振りのご利用…!!　久し振りの対面となりましたので、お母さんと離れる時に涙がこぼれるかなと？少し心配していました。玄関で待っていると、お母さんの腕からすんなり移動して保育士に抱っこされました。お母さんも「覚えていたんだね!!」と嬉しそうに言ってくださり、保育士もとっても嬉しく安堵した瞬間でした。

当然ですが、病児保育は病気の時だけの、ご利用なので年に一回～数回の保育となります。七夕の織姫と彦星のお話ではありませんが、一年に一回しか会わない子どもさんが多いのも病児保育の特徴です。お預かりしたお子さんの病状の変化に関しては、少しでも異変を感じたら院内ですぐに対応していただけますので、その点につきましては保育士も安心してお預かりできております。保育室までの道のりを、絵本の世界を壁面で飾って、慣れない環境での生活をいかに子どもさんたちに安心して過ごしてもらえるのか試行錯誤しております。また、保護者の皆様の拠り所として安心してご利用いただけますように、これからも常に熟考しながら邁進して参ります。

小学生兄弟のご利用

小学生ということもあり、環境の変化にも戸惑うことなく穏やかに、ゆったりと一日を過ごしました。二人とも、お熱はなかったのですが、活気がなく咳が続きましたので、お布団に横になって身体を休めることを大切にしました。

日に日に体調が回復されて、最終日には、宿題に取り組んだ後、オセロを始めました☺
二人を見守りながら、「二人で仲良く遊べるからいいなぁ♪私はすることがないな…」と、つぶやきますと、弟さんの耳に届いたようで「僕のリュックに塗り絵が入ってるから、していいよ!!」と。かわいいやら面白いやらで、キュン♡となった保育士でした(*^^*)

	１１月の利用人数　【１８名】	
病名	手足口病	インフルエンザＡ
	咽頭炎	上気道炎
	急性上気道炎	感冒・感冒性症候群

＊登録申請書は、随時、地域福祉課および医療センターにて受付けております。

年末年始のお知らせ

令和5年　12月 29日(金)
～
令和6年　1 月3日(水)まで
閉室いたします。
1 月4日(木)
＊午前 8 時より電話受付

指宿市委託病児保育事業
独立行政法人国立病院機構　指宿医療センター